



2012年10月 第367号

スズキ労連

第41回
定期大会
特集号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話〈053〉447-3079
発行人 古川正明
編集人 渡部 豪

第41回定期大会開催 “確かな暮らしの明日”に向け、新たな2年間でスタート!!

スズキ労連は、9月16日(日)にグランドホテル浜松にて第41回定期大会を開催しました。加盟労組、支部から代議員134名(男性132名、女性2名)、傍聴者59名(男性57名、女性2名)が参加しました。今大会は第41期・第42期の向こう2年間の運動方針を決定する大会にあたります。

大会では第41期・42期の運動方針を決定するとともに、役員改選を行い、古川会長、小杉事務局長のもと新役員体制となりました。また、新しい2年間のスローガン“築こう!「安心・安定・安全な社会」 生み出そう!「確かな暮らしの明日」”が採択されました。新たなスローガンのもと、労働組合としての社会的役割をより一層自覚した上で、2年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

【参加者】

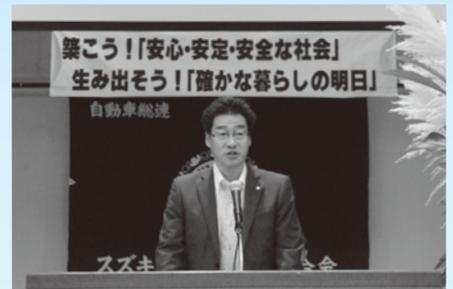
代議員134名(男性132名、女性2名) 傍聴者59名(男性57名、女性2名)
来賓4名 顧問2名 執行部29名 書記2名

【議 件】

- 1) 第41・42期役員定数・役員選挙の件
- 2) 第41・42期運動方針
- 3) 第41期予算(案)の件
- 4) 顧問委嘱の件
- 5) 特別決議
第23回参議院議員選挙必勝決議(案)

【報告承認事項】

- 1) 第40期活動経過報告
- 2) 第40期会計決算報告
- 3) 第40期会計監査報告
- 4) 会社統合に伴う加盟単組脱退
および新規加入承認の件



冒頭、古川会長が執行部を代表して挨拶

【各種委員】 ☆印は各委員長

◎資格審査委員:4名

- ☆河合 秀政<スズキ化成労組>
- 笠原裕次郎<スズキ労組高塚支部>
- 原 和也<スニック労組>
- 沼田 一幸<スズキ部品富山労組>

◎議事運営委員:4名

- ☆松浦 信司<スズキ労連中執>
- 仲秋 圭司<小楠金属熱処理労組>
- 馬淵 一樹<浜松パイプ労組>
- 御室 恒夫<スズキ部品製造労組>

◎議長団:2名

- 増井 啓証<スズキ部品製造労組>
- 宮口 直也<スズキ労組 相良支部>

◎書記:2名

- 原口 美智子<スニック労組>
- 青葉 美奈子<スズキ労連>



議長団 右:増井啓証<スズキ部品製造労組>
左:宮口直也<スズキ労組 相良支部>

来賓のごあいさつ

大会の来賓として、自動車総連の相原 新会長、連合静岡の会長であり、静岡県労働者福祉協議会の理事長である吉岡秀規様、自動車総連 組織内候補予定者のいそぎ哲史様、榛葉賀津也参議院議員 秘書の原田様にご臨席を賜りご祝辞を頂きました。

自動車総連の相原会長からは、スズキ労連の組織拡大の取り組みへの評価と、「いそぎ哲史」候補予定者への一層の取り組みが呼びかけられました。

連合静岡 吉岡会長からは、この時代に組合役員が前向きに明るく取り組むことの重要性が呼びかけられました。

「いそぎ哲史」組織内候補予定者からは、来年夏の第23回参議院議員選挙に向け、「真面目に働いている人、働きたい人が将来に向けて頑張れる環境を作り、仲間の思いをしっかりと受け止め、実現したい」との強い決意が表明されました。



自動車総連 会長 相原康伸 様



連合静岡 会長
兼静岡県労働者福祉協議会 理事長
吉岡秀規 様



自動車総連 組織内候補予定者
いそぎ哲史 様

スズキ労連 古川会長の挨拶

日頃はスズキ労連の諸活動に対して、ご理解とご協力、また日本各地で積極的に活動頂いていることにお礼申し上げます。スズキ労連は明日9月17日に結成40周年を迎えます。従って、今大会はスズキ労連結成40周年記念



大会としてグランドホテルで開催させていただく運びとなりました。大会終了後、スズキ労連結成40周年を記念して、講演を同時に開催することになっておりますので、多数のご参加をお願いします。

本日の大会は、これまでの2年間の活動を検証するとともに、中長期的な視点に立って、向こう2年間の運動方針を確認する大会です。心一つに実のある大会になりますよう、よろしくをお願いします。

政策制度改善の取り組み

本日もご来賓でお越し頂いておりますが、来年7月施行予定の第23回参議院議員選挙の自動車総連 組織内候補である「いそぎ 哲史さん」は、我々の代表として、政治諸課題に取り組むために立候補をされました。スズキ労連としては先の第62回中央委員会で推薦を決定しました。是非皆さんの応援をお願いします。本日、会場後方にも掲示をしておりますが、いそぎさんの活動について「いそぎニュース」というのが16号まで発行されています。皆さんにいそぎさんがどういう活動をしているか知っていただきたくて、掲示をさせていただいています。2月に推薦を決定して以来、2月、3月は主に出身の日産労連の組織内を中心に活動をされてきました。4月以降は全国各地を回って「いそぎ哲史さん」が、どのような人柄で、私たちの為に何をいただけるのか、ということ組合員のみなさんと直接会うことを中心に活動をされてきました。今、マスコミ等で政局、さらには各党の党首選が流されております。そういった中ではありますが、3年前、私たちが応援する民主党が政権を取り、40年間で積もりに積もった様々な課題の解決に向け、政策運営をしていましたが、2年前の参議院選挙で民主党はかなりの敗北をきました。その結果、皆さんご承知のとおり、衆参ねじれ国会の形になっております。これによって、民主党がみなさんと約束した法案が決められなくなってしまいました。マスコミ等は「決められない国会」などと揶揄しておりましたが、これを選挙したのは紛れもなく有権者の国民自身といえます。政権交代を主眼に置き、無理な連携をとった民主党についても全く非が無いとは言いませんが、主な責任はマスコミに踊らされている国民、つまり私たちにあると思いますし、それを払拭できなかった私たちの活動も再度確認していかなければならないと反

省しています。自動車総連には77万人もの組合員がいます。2年前の直嶋正行参議院議員の選挙でも20万強しか票がとれていません。77万人いて20万票です。これは私たちの大きな責任だと思います。民主党政権が国民の期待を裏切ったと書かれている部分、納得できないところは皆さんにも多々あると思いますが、一方で、民主党になって雇用法制の規制強化への転換や社会保障制度の全世代への拡充、経済成長戦略への推進、公共事業をはじめ、硬直していた予算配分の見直しなど、様々な分野で戦後長きにわたり自民政権下で進めてきた政策の流れを転換させる改革成果を上げています。現在は、衆議院解散という言葉が踊っていますが、今解散するとスポットがあたるのは「消費税引き上げ」となります。マスコミが誘導し、民主党はこのままいくと大敗するという話もあります。自民政権下では、労働組合が税金を引き上げる政党を応援することなど考えられないことでした。それでは、なぜ消費税を上げる政党を応援するか、ということ皆さんにお伝えしたいと思っております。今回の社会保障と税の一体改革が実施できないとどうなるかを考えますと、将来的に社会保障制度が崩壊することは勿論ですが、その裏にある税の使い方、あり方にまったく変更がなされなくなるということが懸念されます。今の民主党の税と社会保障の一体改革ができなくなると、金持ちは一生金持ちのまま代々金持ち、貧乏人はずっと貧乏というような社会が構築されていき、金持ち優遇税制にメスを入れられなくなり、私たち働く者に公平で公正な制度を作れなくなることが、一番の懸念材料だと思っております。今でも相続税や贈与税、株配当優遇など、この辺にメスを入れようとする、かなり大きな抵抗が各方面からあります。既得権を持つ現在の政財界の権力者が、優遇税制を改革されないよう、民衆の目先の消費税で庶民の暮らしを圧迫することばかりに焦点を当てて、全てを元に戻そうと相当な圧力をかけてつぶしにかかっていると私は思っています。組合役員の皆さんをはじめ、組合員・家族の皆さんに事実を知ってもらい、正しい判断、これから誰を支援しなければいけないのかしっかり伝えていただきたいと思っております。これから益々いそぎさんの活動が山場に入っていきますので、是非みなさんご支援を心からお願い申し上げます。選挙だけでなく、スズキ労連として国会議員をはじめ、議員と意見交換などにより連携を深め、今後も政策制度改善に向けて勉強会を行う等の取り組みを行っていきますので、よろしくをお願いします。

取り巻く環境の変化と課題

この2年間、労連の活動を振り返ってみますと、経済の環境が極めて変化の激しい2年間であったと思います。しかし、これは4年前から始まっているのではないかと思っております。4年前の金融危機から

世界各国の経済は急速に悪化し始めました。回復基調と言われましたけども、極めて高い円高となり、私たち生産現場の構造が大きく変わったと思っております。デフレの進行と不安定な為替は、サブプライムローンから始まった話ですが、私たちの働く職場は、どんどん海外に移っているということもあります。スズキ労連としても第12次海外調査団を派遣し、ベトナム、タイに訪問してきましたが、日本の閉塞感を尻目に、金融危機後、力強く発展を成し遂げているアジア、特にタイでは、「現地作業者が、タイで作れないものはないのではないか」と思えるほど品質も向上しており、日本で作る優位性が失われつつあると、調査団員も大きな危機意識を持って帰国してきました。この10数年のうちに、日本企業の物づくりの優位性が無くなってしまうというのは、大変危惧されることであります。アジアは、メイドインジャパンの地位を脅かす存在にまで成長しています。スズキグループの連結売上が国内と海外で逆転している実態や、海外調査の結果も踏まえ、海外との連携をスズキ労連の方針として強化していかなければならないと強く思っています。経済の変化、スズキグループの変化に、労働組合も追従していく必要があります。スズキ労連の活動の大きな転換期が来ていると思っております。海外調査団の活動の補強も必要ですが、その取り組みだけでは限界がある事と、国内の組合活動だけでは解決できない海外での問題発生は日本にも影響が大きくなっているということをお聞きしていると、海外の労働団体との連携強化が必要となってきましたが、スズキ労連ではまだまだ遅れている項目であり、今後、自動車総連、金属労協の仲間と連携して、臆することなく、着実に前進していきたいと思っております。40周年の節目となりますが、労連をゼロから立ち上げた諸先輩の苦勞を考えれば、私たちにも越えられない課題ではないと考えます。

仲間をふやす活動

この数年間、仲間を増やす活動、いわゆる組織拡大の取り組みを大きな柱として進めてきました。7年でスズキの直営販売会社を中心に、仲間の幸せづくりに向けて、仲間を増やす活動を強化してきました。この大会まで7年かかりましたが全国51の販社に組合支部ができ、7100人の仲間をつくることができました。この間、労連全体の皆様方のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。しかし、この活動は終わった訳ではありません。スズキグループ内に労働組合のない企業がまだまだあります。部品製造、非製造、直営以外の販売会社もありますので、仲間を増やす活動を続けていく必要があります。また、組合を結成するだけでなく、常に「すべての働く人を一人にしない、させない」そのためにどうするかという視点に立って、取り組みを進めてまいります。

仲間を増やしたことにより、スズキ労連も全国に組合員を持つ組織へと発展することになりました。徐々に変化に対応してきているつもりですが、より

充実した組織の運営を構築していく必要があります。また、人づくりの教育活動や加盟組合へのオルグ活動、販売部会、車体部品部会などの部門毎の活動を充実させ、加盟組合との連携強化を重点とした、よりどころになる労連を作っていきますので、よろしくお願い致します。また、全国規模となったスズキ労連として、自動車総連や連合の地域協議会の活動について、それぞれ地域にその役割が求められます。その役割に応えるため、スズキ労連としても組合役員教育をはじめ、全国を結ぶネットワークの要として、地域における連帯と責任を果たしていくよう、新たな活動をスタートしてまいります。

今期の活動について

労連には、労連内で働く人の格差を防ぎ、グループ内全体で健全な発展を目指していく役割があります。基本的な労働条件である賃金、その実態把握に努めるとともに、賃金カーブ維持の峻別や未組織労働者の影響を与える企業内最低賃金の引き上げ、その協定化など年間を通して着実に進めていきたいと思っております。昨年春闘ですが、所定時間の短縮をこの連帯の中で成し遂げた組合が12組合あります。そういった賃上げに等しい成果を獲得している組合がありますので、賃上げ以外の取り組みも獲得していけるよう更に強化していきたいと思っております。

最後に

この大会をもって多くの役員の方々方が退任をされます。これまでの活動に対して心から感謝申し上げますとともに、今後、各職場でのご活躍をお祈りいたします。皆様のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。

スズキ労連 結成40周年 記念講演を開催

定期大会終了後に大会出席者、スズキ労連OBにもご出席を頂き、結成40周年記念講演を開催しました。講師として、TV番組のサンデーモーニングに出演されている国際政治学者の浅井信雄先生をお招きし、現在国際問題となっている「日中・日韓領土問題と日本の外交ジレンマ」についてご講演を頂き、領土問題に関する理解を深めました。



議 件

1)第41・42期役員定数、役員選挙の件

挙手にて承認(満場一致)

○第41・42期役員定数

- ・会長1名(非専従)・副会長5名(専従1名、非専従4名)
- ・事務局長1名(専従)・副事務局長2名(専従)
- ・中央執行委員16名(非専従)・上部組織派遣役員4名(専従)・会計監査2名(非専従)

○第41・42期役員選挙

- ・選挙区分 全役員
- ・任期 第42期末まで
- ・選挙運営 選挙管理委員会に委嘱する。



提案者の後藤副会長

2)第41・42期運動方針の件

挙手にて承認(満場一致)

○運動方針骨子

- 1.安心な生活づくり
 - 1)労働条件の維持向上
 - 2)政策制度課題の改善と政治活動への取り組み
- 2.魅力ある企業づくり
 - 1)雇用確保と経営対策活動
 - 2)労使協議の充実
 - 3)安全で働きやすい職場環境づくり
 - 4)カウンターパートとしての役割
- 3.労働組合組織の充実
 - 1)専門活動の推進 2)組織体制の強化
 - 3)労連の仲間を増やす活動の推進
 - 4)女性参画の推進
 - 5)上外部組織・団体、友誼労組との連携
 - 6)国際活動の推進 7)業種別活動の推進
 - 8)財政検討の推進



執行部答弁 根木事務局長



質問者 スズキ労組 西條代議員

〈質疑〉 Q. 女性参画については、労連主導でしっかり進めて頂きたい。女性の組合役員選出がしやすくなるように、会議体やセミナーなど女性が参加できる場を増やして頂きたい。

A. 意見として受け止めます。労連で女性が参加できる場を増やしていくので、その際にはご協力をお願いします。

3)第41期予算(案)の件

挙手にて承認(満場一致)



提案者の堀副事務局長

4)顧問委嘱の件

拍手にて承認

○スズキ労連 政治顧問

- 田口 章 静岡県議会議員
- 徳光 卓也 浜松市議会議員

○スズキ労連 特別顧問

- 加藤 幸博 静岡県労働金庫理事長



田口章 政治顧問



徳光卓也 政治顧問

5)特別決議

第23回参議院議員選挙必勝決議(案)の件

拍手にて承認



古川会長(左)と握手をする「いそぎ候補予定者」(右)

報告承認事項

1)第40期 活動経過報告(提案者 根木事務局長) **拍手にて承認**
質疑なし

2)第40期 会計決算報告(提案者 堀副事務局長) **拍手にて承認**
(質疑)

Q. 文体活動費の執行率が低い。労連主導で文体行事を行うのではなく、労連賞を設定すると変更したが、その周知活動はどのように行ったのか?(質問者 スズキ労組西條代議員)

A. 今期は申請用紙を作成し、労連の中央執行委員会時に確認、周知を図った(執行部答弁 堀副事務局長)

Q. 「特別会計・非常積立金」の使用目的と金額が適正なのか伺いたい。(質問者 スズキ労組 奥野代議員)

A. 規約には非常時に備える積立金となっており、執行部が組合活動中に事故にあった場合などに備えて積み立てをしており、会社で言うところの労災保険の代わりです。(執行部答弁 根木事務局長)

Q. その場合はこの額では少ないと思うので、継続した積み立てをお願いします。

A. 継続した積み立てを行います。別途保険にも加入し、補完する形をとっています。



執行部答弁 根木事務局長



質問者 スズキ労組 奥野代議員

3)第40期 会計監査報告(提案者 中谷会計監査人) **拍手にて承認**

4)会社統合に伴う加盟単組脱退および
新規加入承認の件(提案者 秋場副会長) **拍手にて承認**

2012年4月1日付けで(株)スズキ部品浜松、スズキ精密工業(株)、(株)エステック、遠州精工(株)の4社が(株)スズキ部品製造に合併したことに伴い、4組合を解散し、新たに「スズキ部品製造労働組合」を結成したことを報告し、承認されました。



提案者 秋場副会長



中谷会計監査人

ご苦労様でした! 『退任役員表彰』

長きに渡りスズキ労連の発展と組合員の生活向上のためにご尽力いただいた退任される役員の方々に対し、感謝と敬意を込めて表彰を行いました。

退任役員・功勞表彰

氏名：山本 寿
役員期間：33期～40期 (2004.9～2012.9)
役職：中央執行委員8期
出身単組：浜松パイプ労働組合

氏名：菅沼 伸好
役員期間：35期～40期 (2006.9～2012.9)
役職：中央執行委員6期
出身単組：スズキ精密工業労働組合

氏名：鈴木 圭
役員期間：35期～40期 (2006.9～2012.9)
役職：事務局次長4期中央執行委員2期
出身単組：スズキ労働組合

氏名：坂本 幸雄
役員期間：37期～40期 (2008.9～2012.9)
役職：中央執行委員4期
出身単組：遠州精工労働組合

氏名：遠藤 登
役員期間：39期～40期 (2010.9～2012.9)
役職：中央執行委員2期
出身単組：スニッケ労働組合

氏名：杉本 和義
役員期間：39期～40期 (2010.9～2012.9)
役職：中央執行委員2期
出身単組：岐阜スズキ労働組合

氏名：堀 吉伸
役員期間：39期～40期 (2010.9～2012.9)
役職：副事務局長2期
出身単組：小楠金属・熱処理労働組合

氏名：嶋津 吉宏
役員期間：37期～40期
(2008.9～2012.9)
役職：会計監査4期
出身単組：浜松パイプ
労働組合

氏名：中谷 順樹
役員期間：39期～40期
(2010.9～2012.9)
役職：会計監査2期
出身単組：スズキ部品製造
労働組合



退任役員を代表して山本中央執行委員からご挨拶をいただきました



古川会長を囲んで退任役員のみなさん

第41・42期の新役員体制スタート!

新役員を迎え、第41期がスタートしたスズキ労連執行部です。古川会長、小杉事務局長の新体制の元、組織人員の増加に伴い、上外部団体等との連携強化がさらに必要となることから、専従の副会長1名、上部団体派遣役員を4名の体制としました。

第41回定期大会において決定した運動方針に沿って、労連加盟単組一丸となり活動に全力で取り組んでいきます。今後とも皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

第41期・42期スズキ労連新役員一同



役職(役職名)	新任	氏名	出身労組	
会長		古川 正明	スズキ労組	
副会長	新任	根木 一暢		
		山本 満		スズキ部品製造労組
		秋場 和彦		平岡ボデー労組
		後藤 智彦		スズキ販売労組
	新任	松浦 信司		スズキ労組
事務局長	新任	小杉 尚		
副事務局長	新任	堀 順一	スニック労組	
	新任	渡部 豪	スズキ労組	
中央執行委員		太田 賢司	スズキ部品製造労組	
		平塚 訓孝	スズキ輸送梱包労組	
		佐藤 真一	ベルソニカ労組	
		嶋田 満	スズキ部品秋田労組	
	新任	中島 大輔	スニック労組	
		白井 康晴	小楠金属・熱処理労組	
		鷲塚 三樹	スズキ部品富山労組	

役職(役職名)	新任	氏名	出身労組
中央執行委員	新任	鈴木 祥司	浜松パイプ労組
	新任	古田 貴裕	岐阜スズキ労組
	新任	河合 秀政	スズキ化成労組
		乾 一成	スズキ販売労組
		鈴木 紀充	
	新任	野沢 卓志	スズキ労組
		武藤 憲司	
		光田 玄	
	新任	長野 壮一	
	上部団体派遣役員		
新任		中野 雄一	
		池富 彰	
		笠原 賞憲	
会計監査人	新任	眞子 仁	スズキ部品製造労組
	新任	谷口 健二	スズキ販売労組

自動車総連 組織内候補予定者

いそぎ哲史の政策



「今のままで、私たちの生活は大丈夫だろうか」
 「これからも、私たちは今の職場で働きつづけられるのだろうか」
 「子どもがほしいけど、ちゃんと育てていけるだろうか」
 「老後は、安心して暮らしていけるのだろうか」
 日頃私たちが思っている、こうした不安・心配を解決するために「いそぎ哲史」はチャレンジします。

■経済のグローバル化が進展する中において、日本の産業基盤を強化し、国内の雇用確保と生活の安定をめざします。

- 産業・企業の健全な成長は、私たちの生活にとっても日本全体にとっても重要です。国内の産業・企業基盤を守っていく為の自由貿易協定の締結や、為替の安定のための円高対策など、日本の産業基盤強化のために積極的に取り組みます。
- 自動車関係諸税の抜本改革、自動車ユーザーの過重な税負担の軽減など、自動車産業が今後も日本の基幹産業としての役割を果たせるよう全力で取り組みます。

■少子高齢化社会が進展する中で、すべての世代が安心して暮らせる社会保障制度の確立をめざします。

- 多くの世代が、現在の年金制度に不安をもち心配しています。負担と受給のバランスがとれた年金制度への見直しに取り組みます。また、地域医療提供体制や介護サービスなど、私たちの身近な問題となっています。こうした問題を解決するために社会保障制度課題に積極的に取り組みます。
- 現状では、若い世代が安心して子どもを生み育てられる社会になっていません。出産から育児・教育まで、社会全体で支えられる仕組みを作るために全力で取り組みます。